

4 主催事業

(1) 学校利用指導者研修会

① 目的

効果的な利用を図るため、望ましい計画の立て方や研修活動のすすめ方などについて、研修し協議する。また実技研修を通して指導技術の向上を図る。

② 期日、対象者及び参加者数

○第1回

昭和61年4月22日～23日 対象46校、参加者37名
(昭和61年6月3日～7月16日の利用校)

○第2回

昭和61年6月24日～25日 対象54校 参加者44名
(昭和61年8月26日～昭和62年2月5日の利用校)

○第3回

第2回と合同で実施

○第4回

昭和62年2月24日～25日 対象30校 参加者27名
(昭和62年4月14日～5月29日の利用校)

③ 研修内容

- 全体会(入所に必要な手続きと準備、プログラムの編成と展開)
- 実技研修(複合野外ゲーム、野外炊飯、キャンプファイヤーの企画と演出)
- 研修活動の内容紹介
- その他(エリア内視察、研究協議、同時入所校での協議と調整)

(2) 少年団体等利用指導者研修会

① 目的

利用の効果を高めるため、研修計画立案の方法や研修のすすめ方などについて、研修、協議を行い、実技研修により指導技術の向上を図る。

② 期日・対象及び参加者数

- 期日 昭和61年6月7日～8日
- 対象 利用団体の指導者 参加者63名

③ 研修内容

- 全体会(入所に必要な手続きと準備、プログラム編成と展開について、研修活動の内容紹介)
- 実技研修(ゲームダンス、キャンプファイヤーの企画と演出、フィールドワーク、スコアオリエンテーリング、サーキットトレーニング等)
- 研究協議(研究協議、同時入所団体間での打合せと調整)
- 研修計画作成
- 施設視察(エリアも含む)

(3) レクリエーション実技指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者を対象にレクリエーション実技指導者の技術向上を図るため、実技に関する基礎的知識や技能指導法について研修し、資質の向上を図る。

② 期日、対象者及び参加者数

- 期日 昭和61年8月7日～10日(3泊4日)
- 対象 県内の高校生、大学生、社会教育関係者、学校

教育関係者の初心者 定員40名 参加者28名

③ 研修内容

- 理論
 - 現代社会とレクリエーション活動
 - 人をひきつける上手な話し方
- 実技
 - つどいに生かせるレクソング
 - 楽しい自然探索法
 - つどいに生かせる踊りのいろいろ
 - みんなで楽しめるレクスポーツ
 - ゲーム指導の展開法
 - パーティの実際
- 演習 — パーティプログラムの企画と展開

(4) 自然に鍛える少年のつどい

① 目的

夏の大自然の中で、キャンプ生活や野外活動を通して、たくましく(主体的、自律的に)生活できるようにし、併せてリーダーの素地を養う。

② 期日、対象及び参加者数

- 期日 昭和61年7月22日～25日(3泊4日)
- 対象 県内小・中学校より推薦され、又は公募した5年生以上の児童、生徒 定員35名 参加者37名

③ 研修内容

- キャンプクラフト(住まい作り)
- 登山(三森峠～御霊櫃峠縦走)
- 野外炊さん
- ウォークラリー
- 住まい撤収
- ドラム缶ぶろ
- フェスティバル(夜店、晩さん会)
- キャンプファイヤー

(5) 親子キャンプのつどい

① 目的

テントによるキャンプ生活や自然散策、キャンプファイヤーを囲んでの楽しい語らいを通して親子のふれあい他家族との交流、親睦を図る。

② 期日、対象及び参加者数

- 期日 昭和61年8月1日～3日(2泊3日)
- 対象 小門中学校とその親、又は成人を含む数人単位のグループ 定員130名 参加者60名

③ 研修内容

- テント(設営、泊、撤去)
- 野外炊さん
- 交歓のつどい(他家族との交流)
- フィールドワーク
- キャンプファイヤー

(6) 秋の自然に親しむ親子のつどい

① 目的

野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子のふれあいをより深めるとともに、他家族との交流、親睦を図る。

② 期日、対象及び参加者数

- 期日 昭和61年10月25日～26日(1泊2日)
- 対象 小・中学生とその親、または成人を含む数人単位のグループ 定員100名 参加者109名